

# ふげんじょう 不言城 (福光城) 址

本丸(標高100m)

## ふるさとは今

不言城(福光城)は元々福光氏の居城であったが、1559年に毛利家家臣の吉川経安(きっかわつねやす)がこの地に所領を与えられた際に改修を加えて居城とした。急峻な山に二の丸、三の丸を備えた本格的な山城である。

当時は毛利氏と尼子氏による銀山争奪戦のさなか。福光は主要街道が交わり、港も有する交通拠点として栄えていた。さらに銀山を守る最前線であり、尼子氏と石見の尼子派勢力を分断する軍事上の要衝でもあった。1561年尼子方5,000人の攻撃を受けたが、経安は当時まだ珍しかった鉄砲を活用し見事撃退している。

経安の子・経家(つねいえ)は、1581年鳥取城で羽柴(後の豊臣)秀吉と戦い、兵士や民衆の助命のため自害した悲劇の名将として有名である。鳥取城山麓には銅像が立てられ、毎年慰霊祭が催されている。また、岩国市にある石見吉川氏の屋敷跡にも弔魂碑が建立されている。

経安が京の石工坪内氏を招いて興した福光石の採掘・加工は、その後、五百羅漢などに用いられ、地域の文化・景観にも大きな影響を与えた。

不言城は経安・経家・経実(つねみ)の3代に渡って居城として利用されたが、1593年に経実が吉川氏本家の家老に迎えられ、岩国に移るとともに廃城となった。

吉川氏による統治はわずか34年間であったが、福光石や菩提寺の浄光寺、祈禱寺の楞嚴寺(りょうごんじ)など、現在も当時を偲ばせるものが色濃く残る。

城跡は地元の不言城会により案内看板や山道が整備されており、20分あれば本丸まで登ることができる。石垣や巨石・観音像などが残り、廃城となって400年を経た今なお往時の風情を残している。

(出典:温泉津町誌・不言城会パンフレット・(旬)坪内石材店HPほか)



番所跡に残る石垣

登山口までは  
JR石見福光駅から  
車で約5分  
徒歩で20分



巨石の立ち並ぶ山道



現在の校舎(平成10年~)



## 表紙 井田小学校

明治7年、井田村に地区で初めての小学校ができました。その後、井田・福田・荻村の三校体制で初等教育を担ってきましたが、大正2年に統合し、「井田村尋常高等小學校」として新たな一歩を踏み出しました。

井田小学校の一番の特徴は何と云っても、幼稚園・小学校・公民館の複合校舎で培われた「幼小一貫教育」の伝統でしょう。井田地区の子どものほとんどは、井田幼稚園から井田小学校へと進学します。「ピカピカの一年生」も、井田では「お兄ちゃん、お姉ちゃん」。今年度は4人のお兄ちゃん、お姉ちゃんが誕生しました。

運動会や音楽会、田植えや稲刈りなどの行事は、児童たちの晴れ舞台です。はつらつとした姿に元気をもらった方も多いのではないのでしょうか。日頃の学習や経験の成果が実った、一昨年度の「バケツ稲づくりコンテスト」での文部科学大臣賞受賞の快挙も、記憶に新しいところです。

現在の児童数は22名。先生方や保護者の皆さん、地域の皆さん、そして自然と歴史あふれる井田の風土に育まれた、元気いっぱいの『いだっ子』たちです。



この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部地域政策課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail:o-tiiki@iwamigin.jp

おおだの定住サイト「おおだの未来検索サイト どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索